

阿賀野川河川管理レポート 2016



沢海より上流方向を望む 平成28年10月撮影



灰塚地区に白鳥飛来



総合学習支援(新潟市立横越小)



共同点検(阿賀野市渡場)

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

はじめに

□河川の維持管理の基本

台風や集中豪雨による洪水災害が毎年のように全国各地で発生しており、特に平成27年9月においては関東・東北豪雨災害が発生しました。このような中で、ハード対策として堤防整備、強化とあわせて既存の河川管理施設を適切に維持管理し、洪水被害に対する安全性を確保していくことが重要です。また、ソフト面の対策として関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえて、地域の皆様と共に、情報をいかに迅速にわかりやすく伝えるかなどの取り組みを充実させることが重要となっています。

□河川管理レポートについて

この「阿賀野川河川管理レポート」は、沿川地域の皆様が普段目にされていない「日々の阿賀野川の維持管理」について、広くお知らせすることを目的として、平成28年度に実施した内容について公表するものです。

□阿賀野川河川維持管理計画について

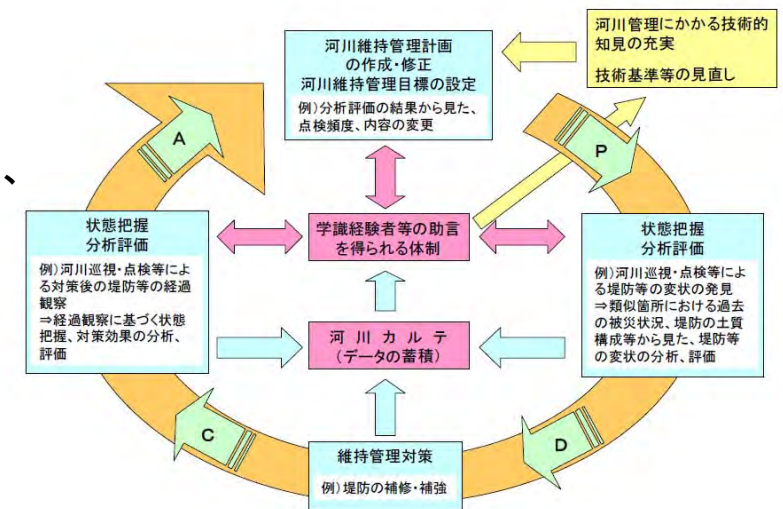
阿賀野川の維持管理にあたって、河川の特徴をふまえ、維持管理の目標、実施内容、その頻度や時期等の具体的な事項を「阿賀野川河川維持管理計画」に定めています。

□サイクル型維持管理の実施

河川維持管理計画により計画的な維持管理を継続的に行うとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとしたPDCAサイクル型維持管理により効率的、効果的に実施していきます。



平成23年7月洪水の状況(阿賀浦橋上流から下流を望む)



目 次

1. 河川の概要と減災のとrikみ

- 阿賀野川の概要1
- 最近の出水にみられる脅威2
- 主要な河川改修事業3
- 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
～施設では守り切れない大洪水が必ず発生する前提にたって～ ..4
- 減災に向けたとrikみの実践6

2. 維持管理業務の概要

- 河川維持管理における主な内容7
- 河川巡視業務の概要
～堤防等の異状・変状を早期に発見～8
- 出水期前の堤防・水門など河川管理施設の点検9
- 河川親水施設の安全利用点検を実施11
- 河口部の維持管理 ～河口砂州・特殊堤～12
- 沢海・渡場床固の維持管理.....13
- 水衝部の監視、施設管理.....14
- 胡桃山排水機場・太田川排水機場の役割と点検.....15
- 堤防除草 ～処理費用縮減と環境負荷低減に寄与～ ..16
- 樹木伐採 ～三つのコスト縮減の取り組み～17

3. 防災に関する活動

- 出水期に備えた洪水時の対応演習18
- 出水期前の「重要水防箇所と緊急資材倉庫の巡視点検」19
- 洪水に対しリスクの高い区間を共同点検20
- 阿賀野川専門防災エキスパートとの連携強化
～経験生かした防災活動支援と技術の伝承～21
- 関係機関が連携した排水ポンプ車実働訓練22

4. 地域と連携した活動

- 川の水質事故を未然に防ぐために
～阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会～23
- 河川愛護モニター ～市民の目線から意見を頂く～.....24
- 満願寺閘門アユ・サケ遡上フォロー操作支援25
- 阿賀野川自然再生モニタリング検討会
～かつての河川環境の再生を目指して活動～26
- 地元小中学生の「川の総合学習」を支援27
- ゴミマップの公開
～やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも～...29
- 水門・閘門操作員表彰 ～永年のご尽力に感謝～.....30
- 阿賀野川をきれいにする会(クリーン作戦)31

阿賀野川の概要

阿賀野川は、幹川流路延長210km、流域面積7,710km²の日本有数の大河です。一年間に流れ出る水の量は全国でも最大級、かつ最も安定していると言われています。阿賀野川流域の水利用は、発電用水、かんがい用水等へ供給され、越後の地域に「恵み」をもたらしてきました。また漁業や舟下り、河川公園等の親水空間には人々が集い、滔々とした流れは、まさに「母なる大河」として親しまれています。

一方で、人々の生活や経済活動に深刻な影響を与えた阿賀野川の洪水は数多くあります。近年では平成23年7月新潟・福島豪雨による洪水は記録的なものでした。さらに、越後平野を流れる阿賀野川の中下流河道は水衝部が多く、周辺地域は低平地を呈しています。

このような阿賀野川の流域周辺には、重要交通網や日本海側唯一の政令指定都市が存在します。よって、洪水被害を防ぐ河川改修や堤防等河川管理施設の維持管理は極めて重要なものとなっています

阿賀野川河川事務所の管理延長
阿賀野川:34.6km 早出川:4.6km



阿賀野川流域の諸元		
項目	諸元	備考
流域面積	7,710km ²	全国第8位
幹川流路延長	210km	全国第10位
流域内市町村	新潟県 6市2町 福島県 3市11町5村 群馬県 1村	平成27年3月現在
流域内人口	約56万人	平成17年河川現況調査
河川数	246	一級河川(準用河川・普通河川は除く)



- 広大な流域と長大な流路
- 年間流出量129億トン
- 山々に囲まれた広大な空間が流域の8割を占め、会津地方に川が集中
- 越後平野と会津盆地で 気候や降雨特性が変わる。

最近の出水に見られる脅威

最近の気象変化から全国各地で短時間に多量の雨が降る頻度が増え、その豪雨・出水被害が頻発しており、平成に入ってから、特に大きな洪水が発生しています。

平成27年9月の関東・東北豪雨の際は、雨域の移動次第では阿賀野川流域でも平成23年を上回る出水になった恐れがあり、これまで以上に洪水への備えが必要になっています。

過去の主要な洪水		
	出水年	流量(m ³ /s)
第1位	平成23年7月 (2011)	9,950
第2位	昭和33年9月 (1958)	8,930
第3位	平成16年7月 (2004)	7,890
第4位	昭和53年6月 (1978)	7,870
第5位	昭和31年7月 (1956)	7,780
第6位	昭和56年6月 (1981)	7,370
第7位	平成27年9月 (2015)	6,830
第8位	昭和57年9月 (1982)	6,360
第9位	昭和44年8月 (1969)	6,060
第10位	昭和36年8月 (1961)	5,970



平成23年7月洪水の状況(沢海付近上空から下流を望む)



平常時の阿賀野川橋梁付近(平成27年5月)

水面幅が約5倍

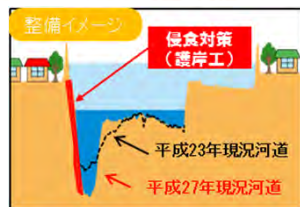


平成23年7月出水時の阿賀野川橋梁付近

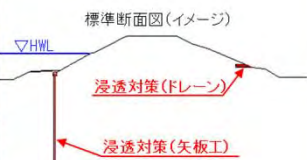
主要な河川改修事業

阿賀野川におけるハード対策としての主要な河川改修事業は、河道断面が計画断面に満たない区間について、洪水を安全に流下させるよう流下能力対策として河道掘削・堤防整備を行い、また、阿賀野川の特徴を踏まえて、浸透対策や侵食対策といった質的整備も併せて実施しています。

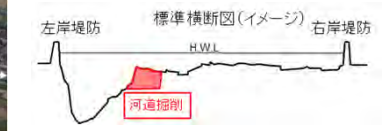
【侵食対策】近年出水により局所洗掘の進行が確認される箇所より実施



【質的整備】低平地が広がり、はん濫した場合浸水範囲等が大きくなる下流部より実施



【流下能力対策】整備計画目標流量を安全に流下するため、下流部より実施



凡 例	
現 状	計画断面堤防
	計画断面に満たない堤防
	堤防不要
堤防整備種別	浸透対策
	パイピング対策
	流下能力対策
	侵食対策

※対策区間については、今後概ね5年間で実施する主な区間

※計画断面堤防とは、計画高水位以下の水位の流水を安全に流下させることを目的として必要となる標準的な堤防の断面形状を有する堤防。
 ※計画断面に満たない堤防とは、標準的な堤防の断面形状に対して高さ又は幅が不足している堤防。
 ※堤防不要とは、丘陵地や台地部などの山付き、掘り込み等により堤防の整備が不要な箇所。
 ※今後の水害発生や河床の変動状況等を踏まえた詳細調査の実施により、変更になる場合があります

阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会

～施設では守り切れない大洪水が必ず発生する前提にたって～

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、**平成32年度目途に水防災意識社会を再構築**する取組を行います。

<ソフト対策>・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策>・「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「**危機管理型ハード対策**」を導入し、平成32年度を目途に実施。

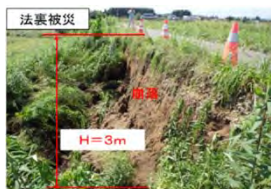
主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。

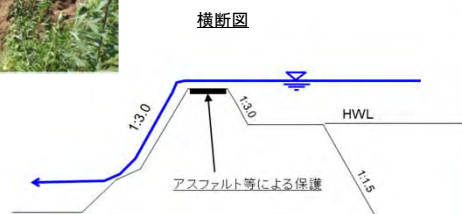
<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨)



<洪水氾濫を未然に防ぐ対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとりべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

家屋倒壊等氾濫想定区域※

※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会

～施設では守り切れない大洪水が必ず発生する前提にあって～

阿賀野川沿川地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、「阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました。

協議会は、国・県・市町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するために、第1回目を平成28年4月12日に、第2回目を平成28年6月24日に開催し、北陸地方で初となる「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく『阿賀野川流域の減災に係る取組方針』を取りまとめました。



第一回協議会開催風景

【参加自治体からの発言】

【阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会の構成機関】

新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、東北電力(株)会津若松支社
新潟県(新潟地域振興局、新発田地域振興局、新津地域整備部
津川地区振興事務所) 新潟地方気象台、阿賀野川河川事務所
＜オブザーバー＞

新発田市、北陸地方整備局河川部



■新潟市長(代理)危機管理監

・計画規模の洪水に対する避難計画でも難しい中で、想定最大規模の洪水に対しては、従来からの応援・支援段階以前から近隣自治体間で情報の共有、連携することが重要である。今後、具体的な検討にあたっては、実行性ある避難計画となるよう関係機関と議論しながら検討していきたい。



■五泉市長

・阿賀野川のほか洪水流出が早い早出川もあり、タイムラインについて精査しながら避難計画について考えていきたい。九州地震後職員を派遣しており対応に生かす。洪水時には国や県から情報を頂きながら状況を予測しつつ対応して行きたい。



■阿賀野市長

・1000年に1度のような想定最大規模の場合、支川など多くの河川も氾濫していると思う。市内を流れる中小河川の氾濫も含めた避難計画など、減災対策に取り組んでいかなければならないと考えている。



■阿賀町長(代理)副町長

・今回の協議会で取組の方向性が明確になり、今後、災害情報の共有など関係機関との連携し、流域全体で考えていかなければならないことと考えている。また、当町は過疎と高齢化地域も多く、そのような地域特性を踏まえた住民の安全対策を検討していきたい。

阿賀野川流域の減災に係る取組方針（抜粋）

■今後5年間で達成すべき目標

自然排水が困難な低平地に広がる下流域の地形特性を踏まえ、阿賀野川の大規模水害に対し、
『安全な場所への確実な避難』『社会経済被害の最小化』を目標とする。

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を安全に流すに加え、以下の取組を実施する。

- ①阿賀野川の大規模水害における特徴を踏まえた**避難行動の取組み**
- ②氾濫被害の軽減や避難時間確保のための**水防活動の取組み**
- ③一刻も早く社会経済活動を回復させるための**排水活動の取組み**

減災に向けたとりくみの実践

1) ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策 ■危機管理型ハード対策(天端保護)
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

①円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する取組

- ・リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
- ・避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善
- ・想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)
- ・立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討
- ・参加市・町による広域避難計画の策定及び支援
- ・広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
- ・水位予測の検討及び精度の向上
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

- ・自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
- ・小中学校等における水災害教育を実施
- ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
- ・まるとまちごとハザードマップを整備
- ・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
- ・住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実

2) ソフト対策の主な取組

②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施
- ・自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所 の合同巡視の実施
- ・毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・洪水に対するリスクが特に高いJR羽越本線橋梁右岸部の水防活動に着目したタイムラインの整備
- ・国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
- ・大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施

■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組

- ・要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
- ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動

③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

■救援・救助活動の効率化に関する取組

- ・大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施

■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・大規模水害を想定した阿賀野川排水計画(案)の検討を実施
- ・排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
- ・関係機関が連携した排水実働訓練の実施

河川維持管理における主な内容

河川の維持管理は、①治水・利水・環境という河川法の目的に応じた管理、②渇水から平常時、洪水時までの河川の状態に応じた管理、③堤防、水門、樋門・樋管等といった河川管理施設の種類の種類に応じた管理というように、内容は多岐にわたり、「阿賀野川河川維持管理計画」に基づいて、河川巡視・点検、調査等を継続的、定期的の実施しています。また、堤防等の河川管理施設の機能を維持するため、巡視・点検、調査等により変状の状態把握を行い、必要に応じて補修を実施しています。

河川の状態把握



河川巡視



床固の点検

堤防護岸、水制、床固 河道、河川空間の維持管理



堤防除草



河口部堆積土砂掘削



不法投棄防止、塵芥処理



樹木繁茂例



樹木伐採例

河道内樹木伐採

樋門・樋管、水門、排水 機場等施設の維持管理



樋門ゲート
ワイヤーロープ
グリスアップ



排水機場施設
制御盤点検



樋門ゲート 扉体点検

河川巡視業務の概要 ～堤防等の異状・変状を早期に発見～

堤防・水門など河川管理施設の状況把握、河川区域内での危険・違法行為の発見、自然環境に関する情報収集を目的として、定期的な河川巡視を行っています。平常時昼間の一般巡視と併せて、早朝・夜間巡視や河川管理施設ごとに徒歩・巡視船による目的別巡視を行うことにより、異状・変状の早期発見・対処に努めています。この他、出水後や地震発生後の被災状況等を把握するため、臨時の巡視・点検も行っています。

【河川巡視項目】

- (1)河川区域等における違法行為の発見及び報告
・・・許可が必要とされている行為を無許可で行っていたり、禁止されている行為を行っている者について発見した場合その状況を把握し報告。
- (2)河川管理施設及び許可工作物の維持管理の状況の把握
・・・河川管理施設がそれぞれ求められる機能を十分発揮するため、その状況を目視レベルで把握し、認められた変状について報告
- (3)河川空間の利用に関する情報収集、(4)河川の自然環境に関する情報収集

巡視項目	巡視内容	頻度
一般巡視(平常時昼間)	車両から巡視を行う。直轄管理区間にある河川管理施設及び許可工作物の維持状況の把握、河川空間の利用や自然環境に関する情報収集を行う。	平均週2～3回
一般巡視(早朝・夜間)	夏期においては、早朝・夜間の危険・違法行為発見を目的に巡視を行う。	月2回以上
目的別巡視	護岸・水門など詳細な状況把握が必要な施設は徒歩や巡視船から巡視する。	月1回以上
出水時の河川巡視	出水の恐れがあるとき、あるいは出水後に被害の有無など情報収集を行う。	出水時



車両による一般巡視
(水辺プラザ付近)



夜間の一般巡視
(阿賀大橋付近)



巡視船による目的別巡視
(泰平橋付近において不法係留船監視)



徒歩巡視
(特殊堤状況の確認)

出水期前の堤防・水門など河川管理施設の点検①

梅雨等の出水期を前に、当事務所職員が管内の堤防・護岸、水門・樋門などの河川管理施設を対象として、徒歩による目視点検を行いました。

河川維持管理・補修を適切に行うためには、河川の状態把握を職員自らが行き、必要な対策を実施することが重要です。当事務所管内の堤防・護岸、水門・樋門などの河川管理施設を対象として、徒歩を中心とした目視点検を行い、これら施設の変状を直接把握し、問題箇所については必要な対策を講じています。

【堤防等点検概要】

- 日 時:平成28年6月13日 13:00 ~ 17:00
- 点検箇所:事前点検が必要な10箇所(右記行程表参照)
- 参 加 者:阿賀野川河川事務所職員



阿賀野川右岸 新井郷川水門付近 護岸の点検
(新潟市北区)

場所	河口からの距離	状況
胡桃山出張所管内(堤防・護岸について重点点検を行う。)		
右岸 新井郷川水門	右岸1.4 km+90 m	上流側護岸沈下・下流脇堤防の緩み
左岸 新潟空港付近	左岸0.2 km+60 m	空港ゲート下流・堤防表法に小動物と思われる穴
左岸	左岸3.8 km+117 m	堤防表法肩の洗掘 ミズミチ(路面排水の集中が原因)
右岸	右岸8.0 km+0 m～ 0 km+50 m	堤防表法尻からのしぼり水
右岸	右岸10.80 km～ 11.2 km	高水護岸への樹木繁茂
満願寺出張所管内(老朽化進行により機能低下した床固め群について重点点検を行う。)		
右岸 沢海第1床固	右岸16.6 km+ 50 m付近	平張コンクリートクラック
左岸 渡場床固	左岸29.2 km+100 m付近	左岸異形ブロックが移動
左岸 論瀬樋管	左岸28.2 km+80 m	堤外水路先端洗掘
左岸	左岸27.6 km	川表法面の急勾配化
左岸 沢海第1床固	左岸16.6 km+50 m付近	魚道変形／抜け石

出水期前の堤防・水門など河川管理施設の点検②



堤防法面 小動物と思われる穴から土砂流出
(左岸・写真中央)新潟市東区 新潟空港付近



堤防を保護する高水護岸への樹木繁茂
(右岸・写真中央)新潟市北区付近



沢海第一床固 平張コンクリート クラック(ひび割れ)
(右岸・写真手前)新潟市秋葉区満願寺付近



渡場床固 異形ブロック 出水による移動
(左岸・写真奥)阿賀野市渡場付近

河川親水施設の安全利用点検を実施

通常の河川巡視に加え、阿賀野川管内の親水施設を対象に、子供たちをはじめとする市民の皆さんに安心して利用して頂くという観点から、ゴールデンウィーク前と夏休み前の年2回、安全利用点検を実施しています。ゴールデンウィーク前の安全利用点検では、対象施設全体の点検と併せて、大和水辺の楽校において地元の小学生により育てられた鮭の稚魚の放流を毎年4月に行っていることから、この放流が安全に出来るように点検を実施しました。

【ゴールデンウィーク前の安全利用点検概要】

- 日 時：平成28年4月11日（月） 9:00 ～ 15:40
- 参 加 者：河川管理を行う当事務所職員
河川公園の管理を行う自治体職員
（新潟市、阿賀野市）
河川に関する様々な情報の提供を行う
河川愛護モニター
- 点検箇所：阿賀野川河川公園等 8箇所
- 点検ルート
 - ①阿賀野川フラワーライン前親水護岸
 - ②横越のワンド
 - ③阿賀野川河川公園親水護岸
 - ④松浜水辺の楽校
 - ⑤阿賀野川ふれあい公園前自然石護岸
 - ⑥阿賀野川水辺プラザ前親水護岸
 - ⑦大和水辺の楽校
 - ⑧籠尻川公園低水護岸



阿賀野川水辺プラザ前 親水護岸



横越のワンド



阿賀野川河川公園

河口部の維持管理 ～河口砂州・特殊堤～

河口砂州は、出水時に上流の水位をせき上げて、大出水時には被害をもたらす恐れがあります。阿賀野川では、平成23年7月出水以降、右岸砂州が発達傾向にあります。このため、出水時における砂州変化状況の解明のため地形測量や画像撮影等を行うとともに、河口砂州については、必要に応じて対応を行っています。

また、河口部右岸には松浜特殊堤がありますが、設置後50年以上経過し、冬季風浪の影響も直接受ける区域であることから、定期点検を行い、変状が確認された場合は必要な補修を行っています。



H19.4.30



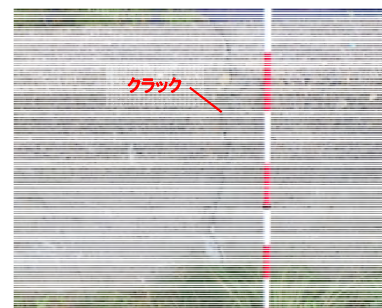
H24.8.2



H28.3.4



河口砂州掘削状況



特殊堤のクラック



クラック補修後

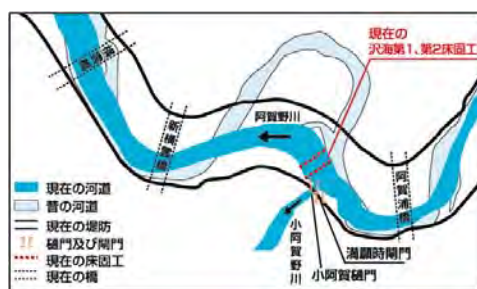
沢海・渡場床固の維持管理

沢海床固は、第1期阿賀野川改修事業（大正8年から昭和8年）の河道改修に伴う河床低下防止を目的に設置され、また渡場床固は流路の固定、河床低下防止等を目的に設置され、それぞれ効果を発現しています。

これらの機能が十分に発揮されるよう出水後に測量等を行い、変状の有無・程度を確認して、必要な場合は補修を行います。



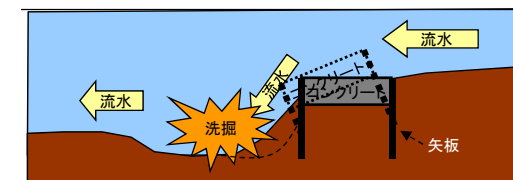
上流側：沢海第二床固（S27年度設置）
下流側：沢海第一床固（S4年度設置）



第一期改修工事による河道改修と沢海床固工群



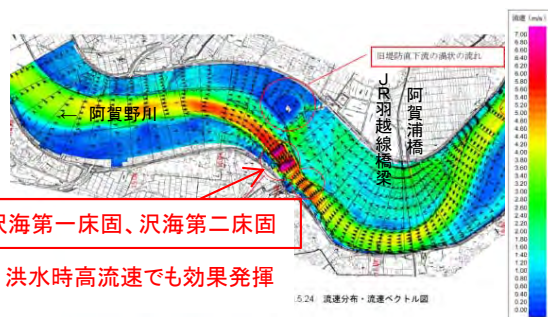
渡場床固（S32年設置）



下流部河床深掘れの進行で床固倒壊の危険あり

第1期阿賀野川改修事業によって、沢海付近は洪水を安全に流すために、川が大きく蛇行していた部分を直線的に結び捷水路が施工されました。短くなった分、川の勾配は急となり、流れは速くなるので河床が削られやすくなります。そのため昭和3～4年度にかけて第一床固が施工されました。その後、歳月がたつにつれて河床の低下が目立ち始めたので、新たな床固の必要性が生まれ、昭和25年～27年度にかけてその上流に第2床固がつけられました。

現在、洪水時の高流速にも効果を発揮し下流河床は安定しております。



沢海第一床固、沢海第二床固

洪水時高流速でも効果発揮

平成23年7月洪水で再現した平面2次元流の流れ
（赤は流速7m/s範囲）

（渡場床固の上流部に関わる目的・効果）

- ①上流河道の河床低下防止（原油流出区間等：草水地先）
- ②上流農業用水の取水維持（現在は廃止）
- ③旧安田橋の洗掘防止（現在は撤去し下流に架橋）



（渡場床固の下流部に関わる目的・効果）

- ①洪水流の乱流防止
（流路の固定による論瀬地区堤防の保護等）
- ②下流旧河道ショートカット部の河床の安定化
- ③下流河道の河床低下防止
（数度流失・被災した安田橋の保護等）

水衝部の監視、施設管理

～三大水衝部対策と水制工の維持管理～

阿賀野川には灰塚地区、横越地区、中新田地区など水当たりの強い箇所が存在し、これら地区は「三大水衝部」と呼ばれ、早くから対策工が設置されたことから河床高は安定傾向です。なお、中新田地区は暫定対策状況のため出水時には点検が必要な重要水防箇所となっています。また、灰塚地区下流部の左岸小杉地区では、平成23年7月出水後に水中部の測量を実施した結果、部分的に深掘れしているため護岸を施工中です。

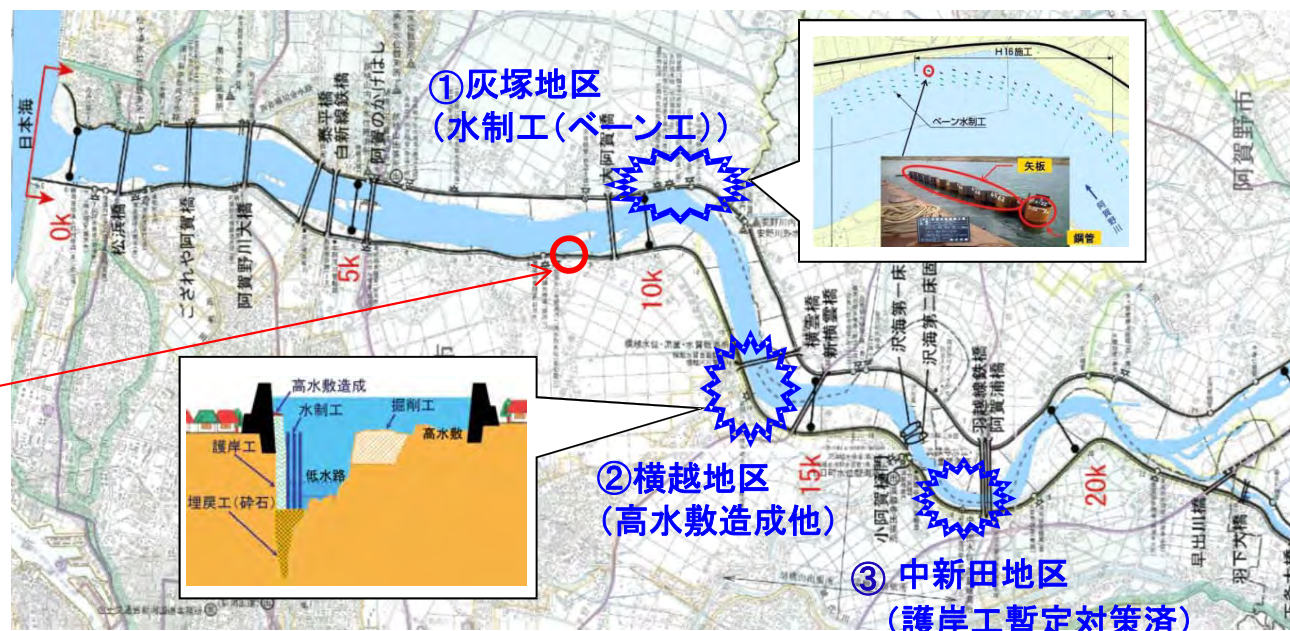
また、阿賀野川にはこれら地区のほかにも河岸侵食を防止するための水制工が設置されています。



平成27年9月洪水時の状況



水制工(松浜地区)



胡桃山排水機場・太田川排水機場の役割と点検

大規模河川管理施設である胡桃山排水機場・太田川排水機場は、治水上重要な役割を担っており、その機能が確実に維持されるよう定期点検と計画的な補修を実施し、機能維持を図っています。



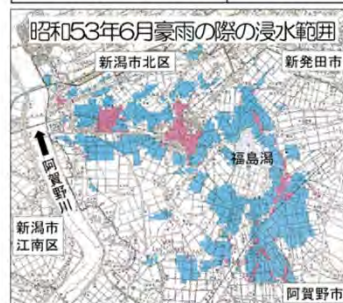
- ・昭和43年 胡桃山排水機場50m³/s計画
- ・昭和52年 10m³/sのポンプ整備着手
- ・昭和53年 6月26日豪雨で内水被害発生
10m³/s→30m³/s整備に見直し
- ・昭和57年 30m³/sのポンプ整備完成
- ・平成7年 8月3日豪雨で内水被害発生
20m³/sの増強に着手
- ・平成8年 20m³/sの増強完了(計50m³/s)

◆胡桃山排水機場の整備効果

平成23年7月新潟・福島豪雨では、昭和53年と同程度の豪雨でしたが^(注)、胡桃山排水機場や新井郷川排水機場等の整備により大幅に被害が軽減。

【昭和53年6月 梅雨前線豪雨】
(胡桃山排水機場なし)

浸水戸数	床下	2,238 戸
	床上	161 戸
	計	2,399 戸
田畑の冠水面積		4,822ha



【平成23年7月 新潟・福島豪雨】
(胡桃山排水機場あり)

浸水戸数	床下	3 戸
	床上	0 戸
	計	3 戸
田畑の冠水面積		40ha

(新潟市より)

胡桃山排水機場整備により
浸水戸数、冠水面積
ともに大幅に軽減

注) 昭和53年6月豪雨：総雨量304mm (新潟観測所)
平成23年7月豪雨：総雨量300mm (胡桃山観測所)



胡桃山排水機場 制御盤点検



胡桃山排水機場 ポンプ点検

太田川排水機場では、平成23年7月の新潟・福島豪雨により太田川沿川で湛水被害が発生したことから、平成25年度に緊急排水ポンプ1.5m³/sが増強されました。

太田川排水機場	5. 2m³/s
緊急排水ポンプ	1. 0m³/s (従来)
同上	1. 5m³/s (増設)
計	7. 7m³/s



平成23年7月新潟・福島豪雨での出水状況

堤防除草 ～処理費用縮減と環境負荷低減に寄与～

堤防表面の植生は、法面(のりめん)を流水や降雨から保護する役目を持っていますが、繁茂し過ぎると点検の際に堤防表面が見えず、異状を発見できなかったり、害虫発生など周辺環境等にも影響を及ぼすことから、年2回(出水期前・台風期前)除草を行っています。

除草後の刈草は、従来の焼却処理に代わる刈草の有効活用としての農業関係者への無償提供や、大型除草機械による除草などで、環境負荷低減とコスト縮減の取り組みを行っています。

堤防除草の目的・必要性・事業効果等

- ①堤防の機能維持
- ②堤防の変状箇所の把握
- ③不法投棄、野火、病虫害の抑制
- ④河川利用の推進

堤防の機能維持



堤防の変状の早期発見

不法投棄、野火、病虫害の抑制



除草作業中に集積したゴミ等

河川利用の推進



利用しやすい環境の維持

大型遠隔操縦式除草機の導入



コスト縮減の取り組み

- ①大型機械の適用拡大
- ②刈草処理の低コスト化



刈草の全量無償提供

家畜飼料や
マルチング材に利用



処理費用
の縮減

樹木伐採～三つのコスト削減の取り組み～

河川内の樹木は、洪水時に流れの妨げとなって、さらには流された樹木により、堤防や護岸などの河川管理施設に損傷等を与える危険性があり、治水上問題となっています。また、河川巡視の際の視野も遮られ、ゴミの不法投棄の温床となっています。このような河川管理上支障がある樹木の伐採を毎年、計画的に実施しています。

樹木伐採にあたっては、経費の節約と伐採樹木の有効活用を図るため、①希望の皆さんへ伐採木を無償提供、②自治体にバイオ燃料用として無償提供、③自らの伐採を希望する個人・事業者を公募、という三つの取り組みを行っています。

従来は、当事務所が伐採木を処分場まで運搬し、有料処分。



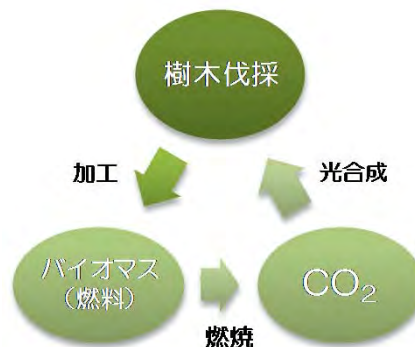
①希望者へ無償提供
【運搬費、処分費が縮減】



②バイオ燃料用として自治体へ無償提供
【運搬費、処分費を縮減。自治体は伐採木をバイオ燃料に活用】



バイオ燃料の循環



従来は、当事務所が伐採、根株除去、運搬処分(幹・枝・根株)の作業。



③伐採希望の事業者等を公募
【伐採、根株除去、運搬処分費(幹・枝・根株)までの作業を民間事業者等が行うことで、伐採費、運搬費、処分費を縮減】



出水期に備えた洪水時の対応演習

出水期を前に、関係機関と合同で大規模洪水を想定した対応演習(机上訓練)を実施しました。水防団(消防団)の出動指針となる水防警報伝達、气象台と共同で行う洪水予報の発表、水門・排水機場など河川管理施設の操作状況確認、堤防被災箇所の対策工法検討など実践的な総合演習を行い、防災体制に万全を期すことを目的にしています。

■実施日時: 平成28年5月27日(金) 9:00~17:00

■場 所: 阿賀野川河川事務所4階 災害対策室

■参加機関:

北陸地方整備局・阿賀野川河川事務所・新潟県・新潟市・
阿賀野市・五泉市・新潟地方气象台・(財)河川情報センター

■主な演習内容:

- 関係機関への情報伝達
- 事務所長から市長へホットラインによる情報提供
- 河川管理施設の操作状況確認
- 災害対策車両の出動要請
- 災害復旧工事の工法検討、施工状況確認



管内状況報告



災害復旧工法検討



事務所長から市長へ
ホットラインによる情報提供

出水期前の「重要水防箇所と緊急資材倉庫の巡視点検」

当事務所と関係機関では、本格的な梅雨期に向けて、また「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取り組みの一環として、有事の際に速やかに有効かつ適正な対応を可能とすることを目的に、阿賀野川における重要水防箇所（洪水時に危険な箇所）の把握及び確認、並びに各機関が管理する緊急資材倉庫等の位置、備蓄資材の確認を行いました。

■ 日 時： 平成28年5月24日（火） 胡桃山出張所管内 9:00～12:00、満願寺出張所管内 13:00～16:00

■ 参加機関： 阿賀野川河川事務所、新潟県（新潟地域振興局地域整備部、新発田地域振興局地域整備部、

新潟地域振興局地域整備部、新潟地域振興局津川地区振興事務所）

新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、東北電力（株）会津若松支社

■ 点検箇所： 阿賀野川河口から五泉市馬下地先までの国土交通省管理区間



阿賀野市法柳地先
（右岸12.2k）



本所緊急資材倉庫
（国土交通省管理）



新潟市江南区蔵岡地先
（左岸8.4k）



JR羽越本線橋梁右岸部
（右岸18.2k）

※ k 表記は 河口からの距離(km)

洪水に対しリスクの高い区間を共同点検

阿賀野川河川事務所では、「水防災意識社会の再構築ビジョン」に基づく取り組みの一環として沿川の25自治会の皆様と共に、阿賀野川(直轄管理区間)の共同点検を行いました。

洪水を流せる量が低い箇所や過去に漏水があった箇所など「洪水に対しリスクが高い区間(重要水防箇所等)の点検」や「新たに公表された想定最大規模洪水に対する浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域」の確認を行いました。

- 日 時：平成28年7月13日、15日、22日
- 参加者：阿賀野川沿川25自治会(自治会長他 50名)、新潟市、阿賀野市、五泉市
- 内容：①阿賀野川・早出川の重要水防箇所の点検
新潟市域4箇所
阿賀野市域3箇所
五泉市域2箇所
②洪水浸水想定区域(想定最大規模)の周知
③洪水に関する防災情報の取得方法について

■参加自治会からの主な意見

- ・ 想定最大規模の**浸水想定区域が公表**されていることを**知らなかった**。
- ・ 去年の鬼怒川の被害は、川沿いに住む我々も、他人事ではないと感じた。**洪水に対する避難に対し、自治会で勉強会**を行っていきたい。
- ・ JR羽越本線部の危険箇所は堤防を切り欠いた状態であり、**早期に対応**して頂きたい。また、水防工法でも新技術を検討できないのか。
- ・ 平成23年7月新潟・福島豪雨水害の際、**堤防法尻付近に浸水**している箇所があった。堤防の漏水かもしれないので**重点的に巡視**してほしい。
- ・ 普段、見た目ではわからない漏水など**危険箇所は沿川住民に公表**してほしい。
- ・ 今回、参加して身近な場所に危険な箇所があることを初めて知った。自治会の役員は毎年交代するため、**毎年実施**してほしい。



阿賀野川左岸:新潟市秋葉区中新田地先



阿賀野川右岸:阿賀野市渡場地先



早出川左岸:五泉市三本木地先

阿賀野川専門防災エキスパートとの連携強化

～経験生かした防災活動支援と技術の伝承～

平成28年7月29日、当事務所において「専門防災エキスパート会議」を開催しました。

専門防災エキスパートは、「管内において地震・風水害等の自然災害や水質事故等の災害が発生、または発生する恐れがある場合に、防災業務に関する応援をボランティアとして行う」事を目的とした、国土交通省OBの組織です。当事務所では11名の登録があり、その専門的知識と経験に基づく支援を得ています。

今回の専門防災エキスパート会議では、管内の重要水防箇所を現地調査した後、意見交換会ならびに災害応急対策検討会を開催し、災害時の緊急対策等の検討を行いました。



JR羽越線阿賀野川橋梁右岸の
重要水防箇所を視察



現場視察後の
意見交換会

【阿賀野川専門防災エキスパート会議 管内現地調査】

- ① 阿賀野川左岸8.4～9.0k 小杉・蔵岡地区(水衝・洗掘の重要水防箇所)
- ② 阿賀野川右岸11.4～11.6k 法柳地区(流下能力不足の重要水防箇所)
- ③ 阿賀野川右岸18.2k 下里地区(流下能力・堤防断面の重要水防箇所)
- ④ 阿賀野川左岸18.2～18.4k 中新田地区(水衝・洗掘等の重要水防箇所)

【阿賀野川専門防災エキスパート会議 意見交換会等】

- ① 意見交換会(現地調査を踏まえての意見交換)
- ② 災害応急対策検討会(想定した堤防決壊箇所について緊急対策を検討)



関係機関が連携した排水ポンプ車実働訓練

当事務所では、阿賀野川沿川地域に水が溢れた場合に備え、排水ポンプ車を2台配備しています。そのような災害時に排水活動が迅速に行えるよう、平成28年度は夜間訓練を含め、3回(3会場)にわたり排水ポンプ車実働訓練を実施しました。当事務所のほか関係機関、委託業者の職員等が延べ65名参加し、排水ポンプ車、照明車の実働訓練に併せて、各車両の機能・構造・取り扱いなどの確認を行いました。

- 日 時 : 平成28年7月28日
9月 1日(夜間訓練)
10月28日
- 参加者 : 関係機関(延べ30名)
阿賀野川河川事務所(延8名)
設営委託業者(延べ27名)
- 実施場所 : 新潟市北区新崎地先
新潟市東区本所地先



排水ポンプ車 説明状況



排水ポンプ 設置状況



夜間訓練状況



照明車 説明状況

川の水質事故を未然に防ぐために ～阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会～

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会 阿賀野川流域部会では毎年、運営委員会を開催し、阿賀野川に関係する県内の河川で発生する油などの流出事故への対策や、事故を未然に防ぐための広報活動などについて協議を行っております。

組織発足後40年となった今年、阿賀野川流域部会を下記のとおり開催し、川の水質事故を防止するための活動を進めてきました。

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会 阿賀野川流域部会

■開催日時

平成28年6月15日 10時～11時

■開催場所

阿賀川河川事務所 2階会議室

■内 容

平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、他



阿賀野川部会開催状況

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会

阿賀野川水系の河川及び水路などの公共用水域での、油の流出などといった「水質事故」への対策や、川の環境保全を目的として、流域の国・県・市町村・水道事業者など関係機関が相互に協力、連絡調整を図るため、昭和50年に設置された協議会です。

協議会には各流域の関係機関で構成する阿賀野川流域部会＜新潟県＞と阿賀川流域部会＜福島県＞の2部会が設置されています。

協議会構成機関

北陸地方整備局、関東経済産業局、東北経済産業局、新潟県、新潟市、新発田市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、福島県、郡山市、会津若松市、喜多方市、南会津地方町村、会津耶麻町村、両沼地方町村、天栄村、信濃川・阿賀野川両水系水質協議会、会津若松地方広域市町村圏整備組合



参考写真：水質事故での油除去作業

河川愛護モニター

～市民の目線で感想や意見を頂く～

地域の方々から河川(整備・利用・環境)に関する要望や河川に関するイベント、ゴミ投棄等の情報を提供して頂くことを目的として、毎年「河川愛護モニター」を委嘱しています。

平成28年度は、新潟市内在住の4名の方に、河川愛護モニターになって頂き、活動をお願いしています。今年度は安全利用点検にも参加して頂きました。毎月、モニターの皆さんから戴いた意見等は事務所ホームページでも紹介しています。

モニターレポート

H28 8月のレポート紹介事例

【報告内容①】

阿賀野川ござれや花火に合わせて、毎年開催前に土手の草刈りが実施されますが、松浜橋上流右岸の一部が草刈りが実施されていませんでした。また、草刈りの後の刈り取った草をそのまま放置されている箇所が見受けられます。夏休み中、子供たちが花火で遊ぶ機会が増えると、野火になる危険性が考えられるので、善処をお願いします。

【事務所からのコメント】

ござれや花火の開催にあたっては、関係機関と同様に実行委員会で調整を行っており、今年も河川事務所でも担当している箇所については除草作業を行いました。また、堤防除草の刈草の処理についてですが、集草を行わない区間については、通常2回刈のところ、3回刈として草丈が短くなるように実施しています。野火については、巡視での監視、市町村の広報誌に注意喚起を掲載していただく等取り組んでおります。

H28 10月のレポート紹介事例

【報告内容④】

休日の公園利用状況を確認するため、日曜日に阿賀野川水辺プラザ周辺を歩きました。お昼頃には風上げや小型ヘリコプターの操縦などで盛り上がり、また堤防外側の野球場では子供達の試合中で賑わっていました。堤防はきれいに整備されており、プラザ内も目立ったゴミは見受けられませんでした。しかし、下流部の船着き場辺りには缶やペットボトルなどのゴミが見受けられたり、早出川脇の農道には薄い畳が落ちていました。

【事務所からのコメント】

秋晴れの休日のなかでの河川敷の公園利用状況や、付近の野球場の賑わいが分かり大変参考になりました。報告頂きました量などの大きなゴミは当所で処理させていただきます。



平成28年7月1日の委嘱式

国交省 阿賀野川河川事務所 @mlit_aganogawa · 2時間

4月11日(月)阿賀野川管内において、ゴールデンウィークを前に人が多く集まる河川敷公園を中心に、8施設で安全利用点検を実施しました。当日は河川愛護モニターや自治体の方々にもご協力頂き、延べ38名で危険な箇所がないか等確認をしました。

(事務所ツイッターで紹介)



「河川愛護モニター」制度

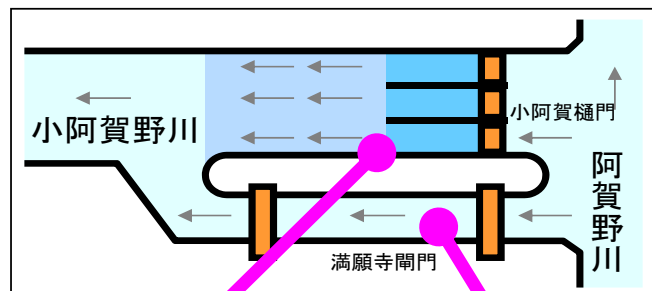
河川に関する地域の要望を十分に把握し、地域との連携をさらに進め、合わせて河川愛護思想の普及啓発及び河川の適正な維持管理に資するために昭和50年に国の管理する河川に制定されました。

満願寺閘門アユ・サケ遡上フォロー操作支援

阿賀野川から分流し信濃川に合流している小阿賀野川は、アユやサケ、モクズガニ等の遡上経路となっていますが、分流点の小阿賀樋門及び満願寺閘門により遡上しづらい状態にありました。このため河川管理上支障のない範囲で魚が遡上しやすい様にゲート操作を実施しています。

小阿賀樋門

サケの遡上期に、下流側にはH型鋼を設置し、水面落差を軽減



水面落差80cm以上



水面落差60cm以下

小阿賀樋門の下流側の水面落差
落差が80cm以上ではサケの遡上が難しい

満願寺閘門

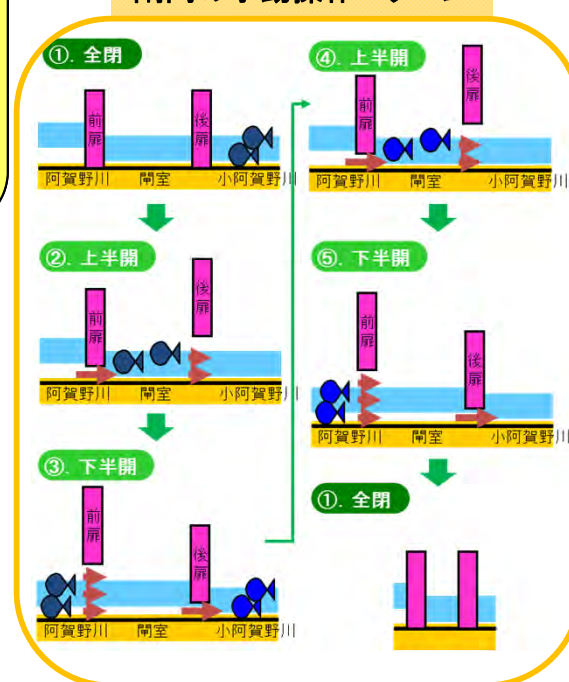
アユの遡上期に、右図のようにゲートの手動操作を行い、閘室内へアユを進入させ、阿賀野川へ遡上させることを実施



満願寺閘門の閘室に進入した稚アユの群れ
(H24.6.4)



閘門の手動操作パターン



阿賀野川自然再生モニタリング検討会

～かつての河川環境の再生を目指して活動～

平成25年度より阿賀野川・早出川の自然再生に取り組んでいます。

自然再生事業を進めるにあたっては、事業箇所への調査、分析、評価等について助言を頂くため、専門的知識を有する学識者からなる、「阿賀野川自然再生モニタリング検討会」を平成26年12月に設置し、今年度は第5回の検討会を開催し、委員の方々より意見を伺いました。



焼山地区ワンド再生箇所(H26整備箇所)



自然再生事業計画箇所

「第5回 阿賀野川自然再生モニタリング検討会」 開催内容

1. 日時
平成29年3月6日(月)13時30分～15時30分
2. 場所
阿賀野川河川事務所 2階会議室
新潟市秋葉区南町14-28
3. 議事(案)
 - ・第4回検討会を踏まえた今後の対応(案)について
 - ・平成28年度モニタリング結果報告
 - ・焼山地区ワンドの現状と今後の対応について
 - ・拡縮流路に関する研究報告
 - ・早出川の整備結果報告
 - ・阿賀野川自然再生計画書(案)の更新について

「阿賀野川自然再生モニタリング検討会」委員名簿

委 員	紙谷 智彦	新潟大学農学部 教授
	中村 吉則	NPO 法人 五泉トゲソの会 常務理事
	馬場 吉弘	新潟県立柏崎高等学校 教諭
	藤田 正明	阿賀野川漁業協同組合 副組合長
	本間 隆平	新潟県野鳥愛護会 顧問
	安田 浩保	新潟大学災害・復興科学研究所 准教授
オ ブ ザ ー バ ー	阿賀野川河川事務所長	
	新潟市 環境政策課	
	阿賀野市 建設課	
	五泉市 都市整備課	

地元小学生の「川の総合学習」を支援①

～阿賀野川の概要や満願寺閘門の役割等を学ぶ～

管内小中学校の総合学習を支援するため、阿賀野川に関する出前講座に取り組んでいます。平成28年9月及び10月に、新潟市立江南小学校ならびに同市立横越小学校の4年生児童を対象に、パネル等を用いた阿賀野川の説明、現地での体験をしてもらう取り組みを行いました。

初めてのメニューとして、満願寺出張所では阿賀野川と小阿賀野川の間で実際に船を通し、満願寺閘門の機能や役割を勉強してもらいました。



江南小 視聴覚教室にて



横越小 横越地区ワンドにて

対象:横越小学校 4年生児童 101名
日時:平成28年10月14日 9時～11時30分

- ・3台のバスで移動し、現地見学しました。
- ・阿賀浦橋の上からH23年洪水の写真と平常時の川を見比べてもらい児童からは驚きの声があがっていました。
- ・満願寺出張所では、100年前の阿賀野川の大規模改修の歴史や満願寺閘門の役割を学習しました。
- ・多くの質問が飛び交い、児童は非常に興味を持って勉強していました。

対象:江南小学校 4年生児童 90名
日時:平成28年9月15日 14時～14時45分

- ・小学校の視聴覚教室にて学習しました。
- ・阿賀野川の歴史や自然について、クイズを交えて楽しく勉強しました。
- ・児童から沢山の質問も出されました。

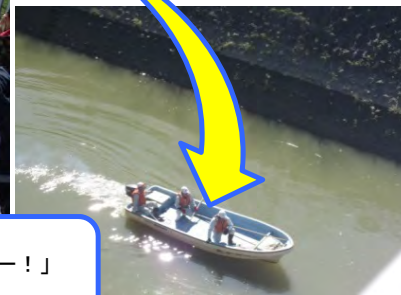


屋上から閘門を観察しました。
徐々に水位が変化していく様子を食い入るように見つめていました。



閘門に船が入ってきました。
子供たちは「あっ！船が来たー！」とテンションUP!!

横越小
満願寺閘門にて



地元小学生の「川の総合学習」を支援②

～阿賀野川の水のきれいさを水質調査で確認～

冬期は、河川への灯油流出など水質事故も心配されることから、11月の出前講座では阿賀野川の水質を調査することで、現在の阿賀野川がいかに綺麗かを確認してもらいました。また、河川を綺麗に保つためにみんなができることを学習してもらいました。

対象: 岡方第一小学校 5年生児童 24名
日時: 平成28年11月15日 14時～15時30分
場所: 新潟市北区長戸呂地先の阿賀野川河川敷
(阿賀野川右岸、越岡揚水機場付近)

- 学校近くの用水路と阿賀野川の水を水質調査して結果を比べてもらいました。
- 川をきれいに保つために自分たちで出来る事を学びました。
- 当日はテレビ局の取材があったせいか、児童のテンションも高かったようです。

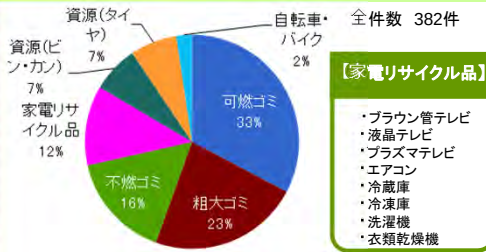


水質調査事前説明(長戸呂地先の阿賀野川河川敷)

ゴミマップの公開

～やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも～

■平成27年度種類別ゴミ投棄割合

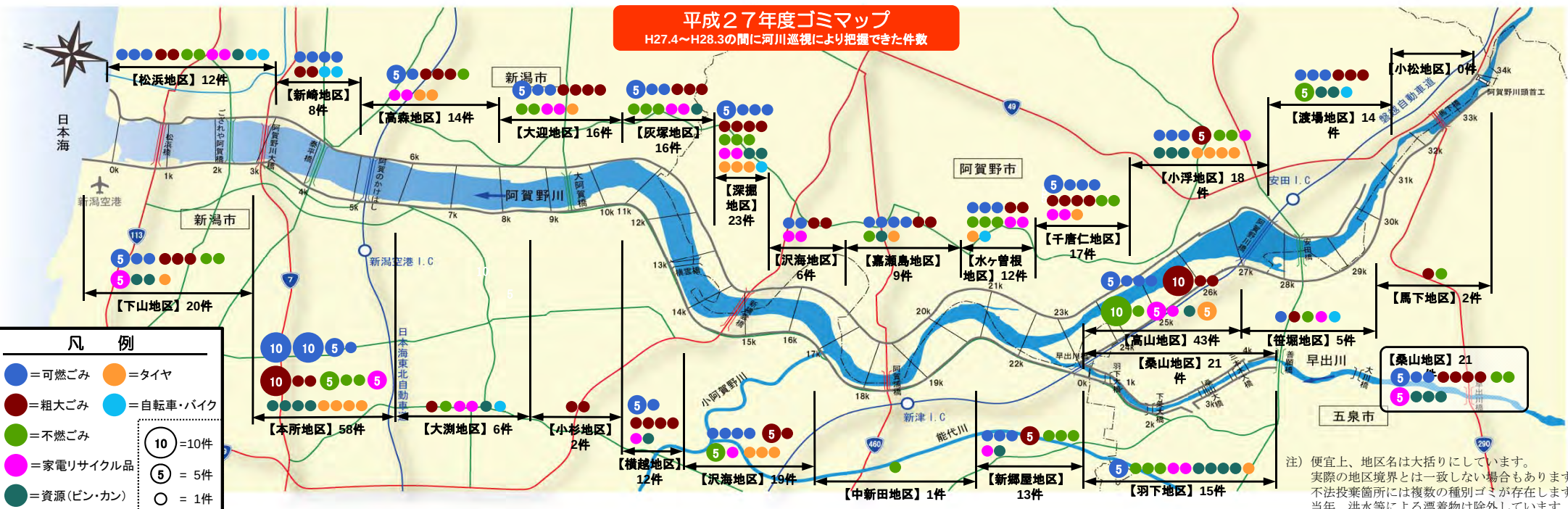
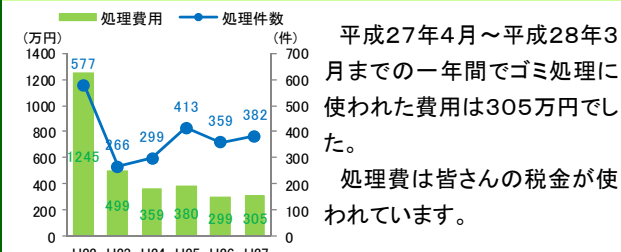


■阿賀野川を守るために多くの労力が必要です

阿賀野川を美しくするための様々なボランティア活動が行われています。



■ゴミ処理にはこんなに費用が掛かります



■ゴミの不法投棄は法律により厳しく罰せられます



【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】
5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金

【河川法】第29条、第109条
【政令】第16条の四第1項、第58条
6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金

※阿賀野川河川敷にゴミを不法投棄した者が、阿賀野川河川事務所の通報により平成28年4月に逮捕されました。

■不法投棄の監視をしています



■発見したら連絡をお願いします

このマップの範囲内で不法投棄を見た、捨てられている場所がある等の情報がありましたら連絡をお願いします。

【連絡先】

国土交通省阿賀野川河川事務所 <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

管理課 TEL 0250(23)4367 FAX 0250(23)3143
胡桃山出張所 TEL 025(386)7181 FAX 025(388)3908
満願寺出張所 TEL 0250(22)1132 FAX 0250(23)3778



水門・閘門操作員表彰 ～永年のご尽力に感謝～

水門・閘門等の河川管理施設は、洪水から沿川地域を守る重要な施設です。

これら施設の「点検・操作」を地域の方に阿賀野川河川事務所長より委嘱をいたします。このたび委嘱操作員として、30年以上従事されている方1名を、事務所から「永年にわたって業務に精励された河川功労者」として(公社)日本河川協会に推薦し、その結果「河川功労者表彰」を受賞されました。また、従事期間10年以上の方2名について、阿賀野川河川事務所長より表彰させて頂きました。

今回の表彰式は、阿賀野市民の皆様にも広く知って頂きたく、阿賀野市役所にて行い、阿賀野市長より賞状を伝達して頂きました。後日、その様子が市報にも紹介されました。



表彰式(伝達式)

【実施日時】

平成28年 8月10日(水)14時00分14時00分

【会 場】

阿賀野市役所 1階 会議室

【対 象 者】

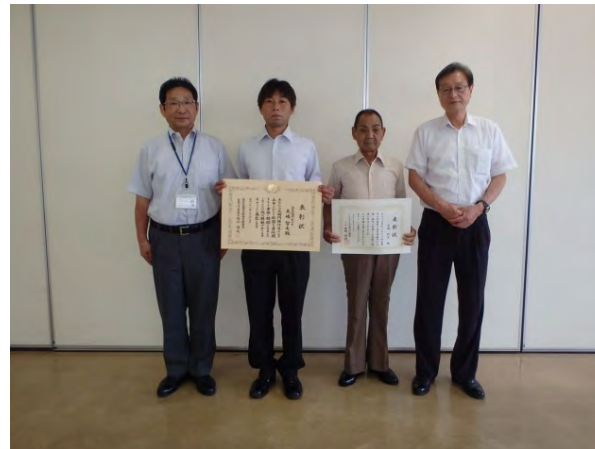
阿賀野川水系阿賀野川海老漣(えびすき)樋門

操作員 大嶋松夫様(河川功労者 表彰)

操作員 大嶋智之様(阿賀野川河川事務所長 表彰)

阿賀野川水系阿賀野川大河原(おおがわら)樋管

操作員 南雲吉夫様(阿賀野川河川事務所長 表彰)



石川所長、大嶋様、大嶋様、田中市長



海老漣樋門の点検状況



意見交換会の状況

大嶋様は親子三代に渡り
阿賀野市の海老漣樋門の
操作員として従事され、洪
水から阿賀野市を守ってい
ます。

阿賀野川きれいにする会(クリーン作戦)

阿賀野川には「阿賀野川をきれいにする会」という、川を愛する有志団体があります。

この会は、阿賀野川下流域の沿川自治会、老人クラブ、占用者、マリンスポーツ団体などの方が会員となって、自から阿賀野川の清掃など奉仕活動を行うことを目的として、平成4年に設立されました。本会の特徴として、清掃活動そのものは各団体の計画による独自の取り組みとしています。

当事務所はこの会の事務局として年1回の総会を運営しており、平成28年9月16日で25回目の開催となりました。総会の内容としては各会員の清掃活動の紹介、今後の活動方針、阿賀野川の事業概要説明、意見交換などを行っています。

この1年間の清掃活動としては、23団体で延べ約750人の方が阿賀野川の美化活動に貢献していただいております、自然豊かな阿賀野川を支える、大切なサポーターとなっています。

各会員の清掃活動状況

